

社会福祉法人筑前会
令和3年度事業報告書
(令和3年4月～令和4年3月)

社会福祉法人筑前会
法人本部

R3年度法人活動状況

1. 財務状況(令和3年度総括)

(1) 法人全体の収入は前年度比△7百万円(△1.5%)であり、収入減の要因としては入所系の利用者の減少であり、入院者の増加(昨年比倍増)に伴う空床数の増加(昨年度比倍増)が大きく、新型コロナウイルス感染拡大時のショートステイ利用者の受入れ制限と空床に対する利用者受入れ対策が不十分であった。その他の在宅サービス事業については微増となった。対予算未達の要因としては上記と共に通所サービスにおいて、当初計画していた利用者の増加(目標+3名/日)に至らなかったことによる。上記を踏まえ、今年度の予算達成に向けた対策としては、①平均入院者数を考慮したショートステイ利用者の受入れ計画の策定を常態化することで入所計サービスの収入の安定化を図る。②ショートステイ利用者の受入れにおいては、新型コロナウイルス感染対策として利用者の日常的な検査を要件として積極的な受け入れを促進する。③通所サービス利用者増加に対しては新規利用者の増加に向けて考える様々な対策(特にルート活動、日曜デイの開催等)を全職員で議論し、実践する。④次年度算定可能な新規加算を確実に取得する。⑤原材料や燃料費高騰等による各サービスの価格増加の要請等、収入増加に対する様々な施策を徹底的に実践する。

(2) 支出は前年度比+26百万円であったが、職員増員に伴う人件費の増加、新規の処遇改善補助金取得に伴う人件費増、緊急の設備改修工事(ボイラー改修工事)等によるものであった。

今年度は大規模改修工事、原材料価格の高騰による事業費の増加、処遇改善補助金取得に伴う人件費の増加等、多くの支出増加要因があるが、①業績に応じた職員賞与の精査や残業時間管理等による人件費の抑制、②オムツ業者をはじめとしたコスト削減効果の高い業者の見直し、③食材費・水道光熱費の高騰を少しでも抑えるための施策(参入業者増加、節電・節水対策等)を全職員で取り組む。④IT化導入、適正配置や業務分担等による労働効率・労働生産性を高める等、徹底したコスト削減に取り組む。

(3) 上記の要因により、事業活動収支差額は△約71百万円(前年度比△約32百万円)であった。

(4) 資産状況

①R3年3月31日現在:920,135,849. -

②R4年3月31日現在:840,936,101. - (※前年度比△79,199,748. -)

◆現行の流動資産(積立資産含む)・・・約505百万円(前年比△約54百万円)

・人件費(職員処遇改善等)積立金:約108百万円(前年比△約72百万円)

・建設修繕等積立金:約280百万円(前年比+約24百万円)

・現金預金、未収金:約117百万円(前年比△約5百万円)

2. 採用関係

(1)採用実績:9名(介護×7名、その他×2名)※正職員×5名、契約・アルバイト×4名

①新卒採用者:2名

- ・折尾愛真高校:1名
- ・上記途中退学者:1名

②中途採用数:7名

- ・職業訓練校紹介:2名(介護)
- ・派遣職員⇒直接雇用:1名(介護)
- ・ハローワーク:1名(介護職)
- ・自主応募:3名(介護×1名、送迎×1名、清掃・リネン×1名※アルバイト)

(2)退職者:7名(介護職×6名、その他×1名)※契約職員・アルバイト×7名

3. 各事業運営

(1)役員会

- ①理事会:3回(書面決議含む)
- ②評議員会:2回

(2)行政対応関係

①現業報告(決算・事業報告)

- ・行政報告:令和3年6月末

②処遇改善加算申請等

- ・令和2年度実績報告:令和2年7月
- ・令和3年度申請:令和2年4月

③労働基準監督署対応

- ・定期健康診断結果報告:1回
- ・ストレスチェック実施結果報告:1回
- ・令和4年度36協定提出:令和4年4月
- ・就業規則変更届:令和4年4月

④集団指導参加

- ・各事業所説明会参加(インターネット閲覧)

⑤助成金申請関係

◆IT導入補助金

- ・経産省ITC導入補助金:約2百万円⇒採諾後、申請辞退
- ・介護ロボット導入:約3百万円

◆特定求職者雇用開発助成金:1名

- ・対象者1名:30万円/半期

◆新型コロナ関連助成金

- ・JKAコロナ対策経費申請:1百万円⇒不採諾
- ・小学校休業補助金:10万円⇒4年度一括申請

(3) 研修・教育

① 行政主催研修会

- ・遠賀町居宅事業所事例検討会: 1回/1名
- ・看護職員向研修(感染対策): 1回/1名
- ・介護職向け医療セミナー: 2回/2名
- ・介護職向けキャリアアップ研修: 1回/3名
- ・ボランティアフォローアップ研修: 1回/1名
- ・労働衛生管理者研修: 1回/1名
- ・安全運転管理者講習会: 1回/1名
- ・福岡県企画部会研修: 7回/1名

② 資格取得支援

- ・同行援護従事者研修: 5回/3名
- ・ケアマネ実務者研修: 7回/1名
- ・初任者研修: 1名(通信教育)
- ・実務者研修: 7回/1名
- ・社会福祉主事研修: 1名(通信教育)

③ 社内研修

- ・運営会議: 6回

事業計画・報告、ハラスメント防止、高齢者虐待防止講義、看取り研修、新型コロナ対策講義(3回)

- ・リーダ会議: 12回

(4) 看取り介護

- ・前年度実績: 0名(R3年4月1日~R4年3月31日)

(5) 利用者処遇検討会議

- ① ケアカンファレンス開催数: 36回

※DRカンファレンスを含む

- ② 給食会議開催数: 12回

- ③ 企画会議開催数: 12回

- ④ 入所判定委員会: 0回

4. 建物改修、設備更新等(※100,000円以上)

(1) 建物・設備改修

- ① 記念碑改修工事: 572,000円
- ② デイサービスボイラー修理: 348,000円
- ③ ボイラー配管改修工事: 7,950,000円

(2)設備更新・新規導入

- ①居室エアコン(故障取り換え)×2台:281,600円
- ②業務用PC
 - ・事務用PC(老朽化取り替え)×2台:399,300円
 - ・栄養士用PC(老朽化取り替え)×2台:341,880円
 - ・居宅用PC(老朽化取り替え)×2台:375,760円
 - ・支援センター用PC(職員増加用)×2台:320,320円
- ③厨房設備機器
 - ・食器洗浄機(老朽化取り替え):748,000円
 - ・温冷配膳車(老朽化取り替え):1,287,000円
 - ・ミキサー機(老朽化取り替え):141,900円
- ④介護用品
 - ・リクライニング車いす×2台:284,000円
 - ・入浴用キャリー×2台:275,000円
- ⑤公用車(車いす対応中古軽自動車)×1台:600,000円
- ⑥検温機能付き顔認証リーダー×2式:375,100円

5. 地域貢献・地域との連携活動(介護保険制度外の地域に対する支援活動等)

- (1)運営推進会議開催数:5回(うち3回は書面決議)
- (2)福祉サービス第三者委員会:1回
- (3)高齢者調整会議開催(参加回数):4回
- (4)遠賀町社会福祉協議会委員参加:2回
- (5)遠賀町居宅事業所事例検討会:1回/1名
- (6)介護保険認定審査会:2回/月/1名
- (7)遠賀町社会福祉法人連絡会:2回/1名
- (8)遠賀町高齢者保健計画委員会:2回(うち2回は書面決議)
- (9)地域の公益的な活動に対する事業所資源の提供(施設環境の解放、教育支援)
 - ①各種地域ボランティア活動・慰問受入れ:2回
 - ②傾聴ボランティア受入れ:5回(受入れ要件:少人数・短時間、ワクチン接種、施設内の立入禁止)
 - ③(保育園児、小学生等)地域学生との交流会の定期開催:中止(写真や動画のやり取りのみ)
 - ④介護体験等学生受け入れ
 - ・教員資格履修大学生:2名
 - ⑤各種資格取得を目指す実習生の受け入れ(短期大学、専門学校、介護養成校等)
 - ・栄養士、調理師実習受入:1名
 - ・職業訓練校介護実習(体験)受入:2名
 - ⑥緊急時の受入れ対応(同居ご家族の入院等による緊急受け入れ)
 - ・緊急ショート受け入れ:2名

(10)地域貢献サービス事業

・R3年度活動実績:8,623件/年・・・別紙「R3年度活動実績」参照

6. 組織(職員)体制等(R4. 3. 31現在)

(1)職員数:92名(男性:13名、女性79名※産休・傷病休者6名含む)

(2)職種別内訳

①管理者:2名(各事業所兼務管理者、居宅介護事業所管理者)

②事務員:2名(法人本部職員含む)

③看護師:6名(兼務含む)

④相談員:3名(兼任:2名)

⑤介護支援専門員:5名(兼任2名、専任3名)

⑥介護職員:65名(正職員:32名、契約職員:33名)

・従来型施設:33名、・ユニット型施設:15名、・通所介護:13名、・訪問介護:4名

⑦厨房業務従事者:8名

⑧ソーシャルワーカー:2名 ※うち兼務2名

⑨その他支援員(送迎・清掃・リネン担当等):3名

(3)保有資格別内訳

①社会福祉士:3名

②社会福祉主事:3名

③正看護師:2名、准看護師:4名

④介護支援専門員:7名

⑤介護福祉士:46名、実務者研修・初任者課程修了相当資格:20名

⑥管理栄養士:1名、栄養士:3名

⑦調理師:3名